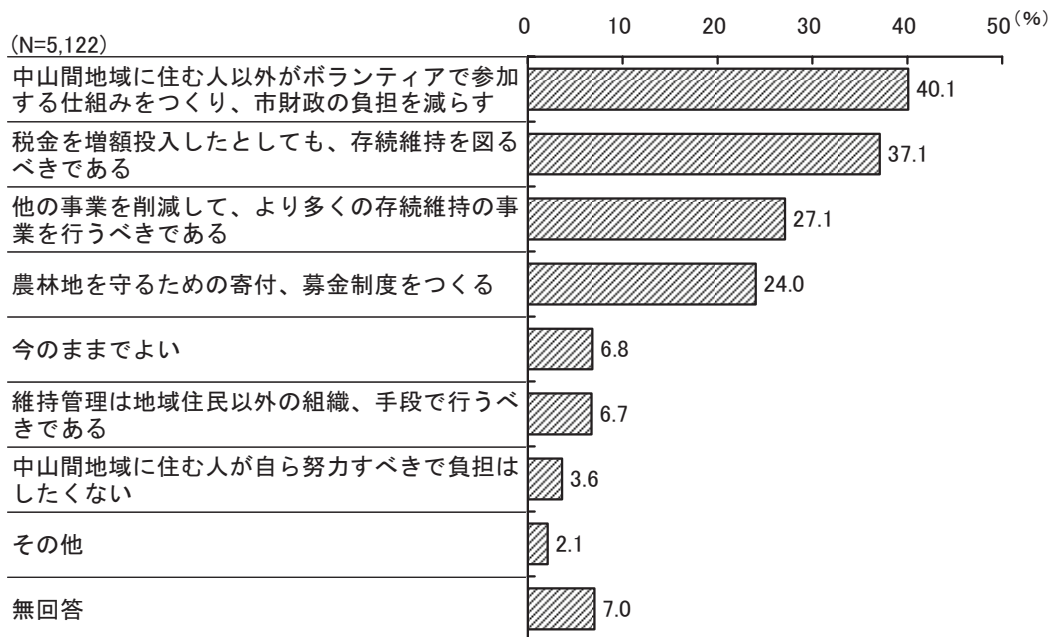


13 中山間地域の振興について

(1) 中山間地域の農林地や集落等の維持管理、負担について

問 30 静岡市の誇る豊かな水資源や農産物は、中山間地域に住む人たちが維持・管理する農地や森林によって育まれたものです。過疎化と高齢化により集落衰退が進行した場合、これらの機能を失うだけでなく、災害による土砂崩れや洪水を引き起こす原因となります。中山間地域の農林地や集落等の維持管理、負担についてどう思われますか。

(○は2つまで)



Point!

中山間地域では「ボランティアで参加」が低く、「税金の増額投入による存続維持」が高い。

中山間地域の農林地や集落等の維持管理、負担については「中山間地域に住む人以外がボランティアで参加する仕組みをつくり、市財政の負担を減らす」が 40.1%で最も高く、「税金を増額投入したとしても、存続維持を図るべきである」(37.1%)、「他の事業を削減して、より多くの存続維持の事業を行うべきである」(27.1%)、「農林地を守るための寄付、募金制度をつくる」(24.0%)の順となっている。

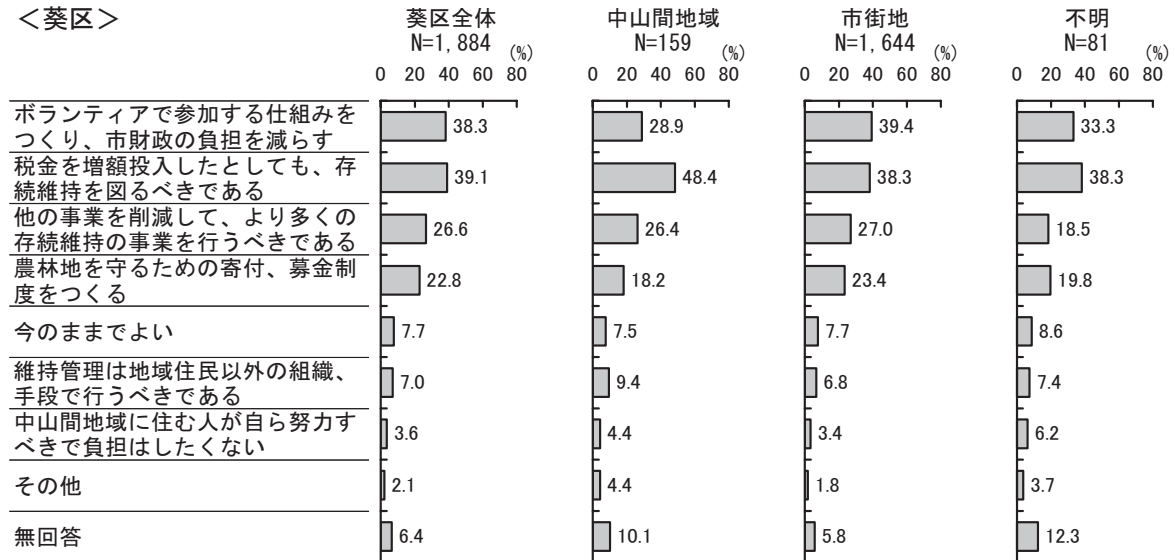
●その他内訳●

- 中山間地域に住みやすい状況をつくる。(例えば、医療など)
- 移住者を増やす手段を考える。
- 高校、大学教育で、実習などボランティアを含め、農林業に参加させる。
- 過疎地の農地貸付け制度を考え、市が仲介し、農業希望者を集める。(菜園作り)
- 交通の便が良くなれば、若者も住む様になります。中山間地の望む所。
- 山間地域に従事する若い人を育てる。
- 失業者の方を活かして、新たな職場として提供する。
- 市とか農協とか個人農家でもっと農園の貸し出しをする。
- 市民が判断するのではなく、市側が全体を見て、必要性を個々に判断して。
- 職業訓練の場として提供する。若者に継承していくための教育ボランティア、カリキュラムをたてる。
- 税金の無駄使いではないのか…とも思うが、活動内容を把握すれば納得できるのではないか。
- 中山間地域の大切さを、もっと多くの人に知ってもらう。
- 農業をやりたい人へのバックアップ。
- 農地に対する税金を増やすべきではない。市財政のムダ使いをなくす事!
- 農地や森林に市民が触れて、愛着心を培うためのイベントをする。

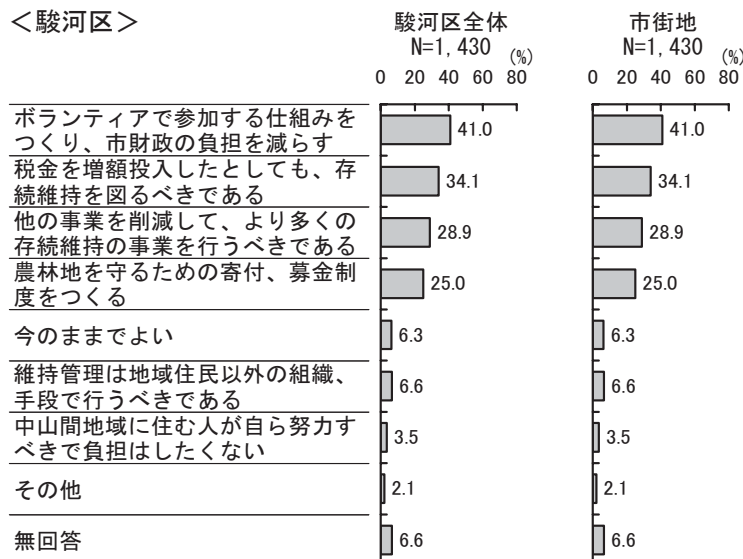
…など

【中山間地市街地別】

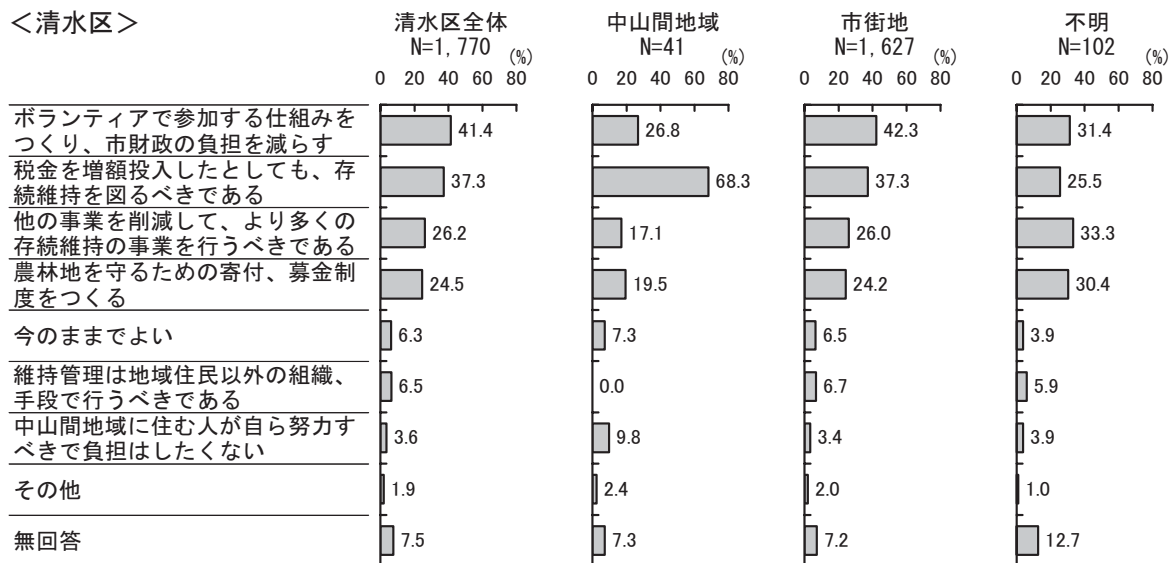
＜葵区＞



＜駿河区＞



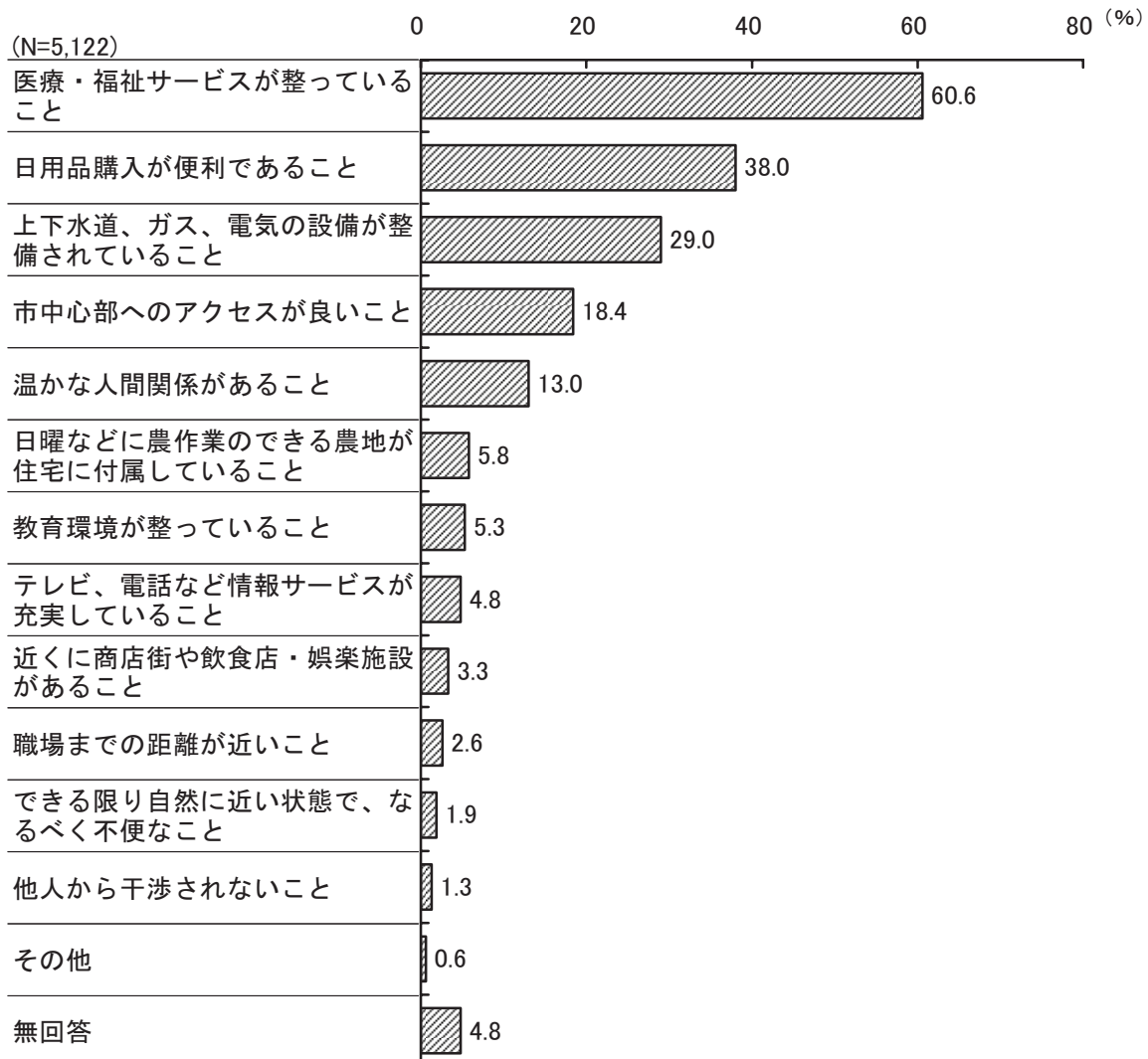
＜清水区＞



行政区別にみると、葵区と清水区では「他の事業を削減して、より多くの存続維持の事業を行うべきである」(葵区：26.6%、清水区：26.2%)が駿河区(28.9%)に比べてやや低くなっている。葵区と清水区の中山間地域と市街地を比較してみると、葵区、清水区とも中山間地域では「ボランティアで参加する仕組みを作り、市財政の負担を減らす」(葵区：28.9%、清水区：26.8%)は市街地(葵区：39.4%、駿河区：41.0%、清水区：42.3%)に比べて目立って低く、「税金を増額投入したとしても、存続維持を図るべきである」(葵区：48.4%、清水区：68.3%)は市街地(葵区：38.3%、駿河区：34.1%、清水区：37.3%)に比べて目立って高くなっている。

(2) 中山間地域に住む場合、最も重要なこと

問 31 中山間地域に住むとしたら、最も重要だと思うことは何ですか。(○は2つまで)



Point!

全体、性・年代別、世帯構成別でも「医療・福祉サービス」が最も高い。

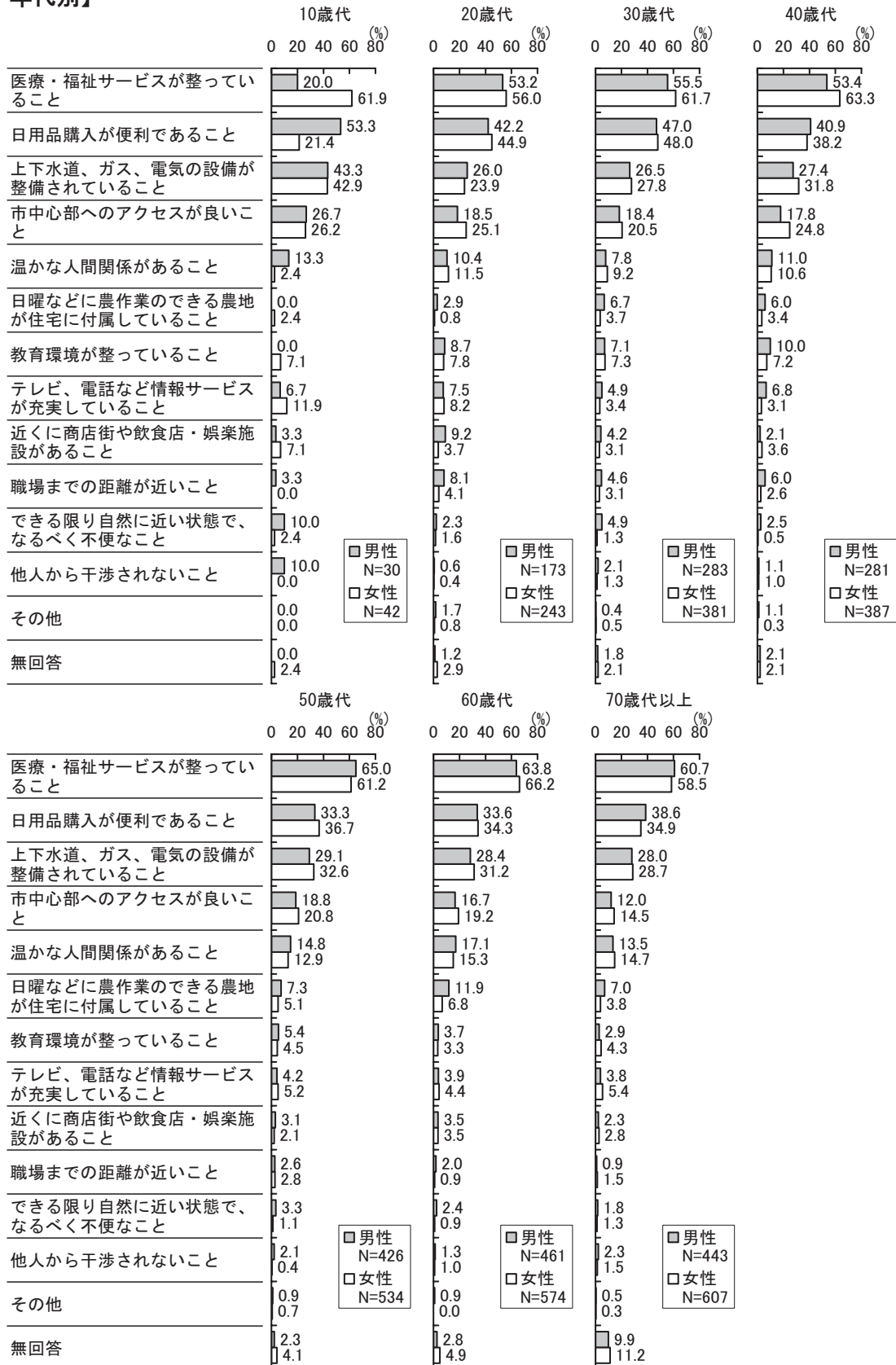
中山間地域に住む場合、最も重要なことは、「医療・福祉サービスが整っていること」が6割(60.6%)となっており、目立って高くなっている。以下「日用品購入が便利であること」(38.0%)、「上下水道、ガス、電気の設備が整備されていること」(29.0%)、「市中心部へのアクセスが良いこと」(18.4%)となっている。

●その他内訳●

- 安全対策。(がけ崩れ、洪水など)
- きちんと住める家が必要。(アパート等も含む)
- 緊急時のサポートが望めること。
- 交通整備。
- 生活出来る、収入が得られる事。
- 治安が確保されている事。
- 中山間地で生活する上で、相談したいことを、すぐに相談できる体制が整っていること。

…など

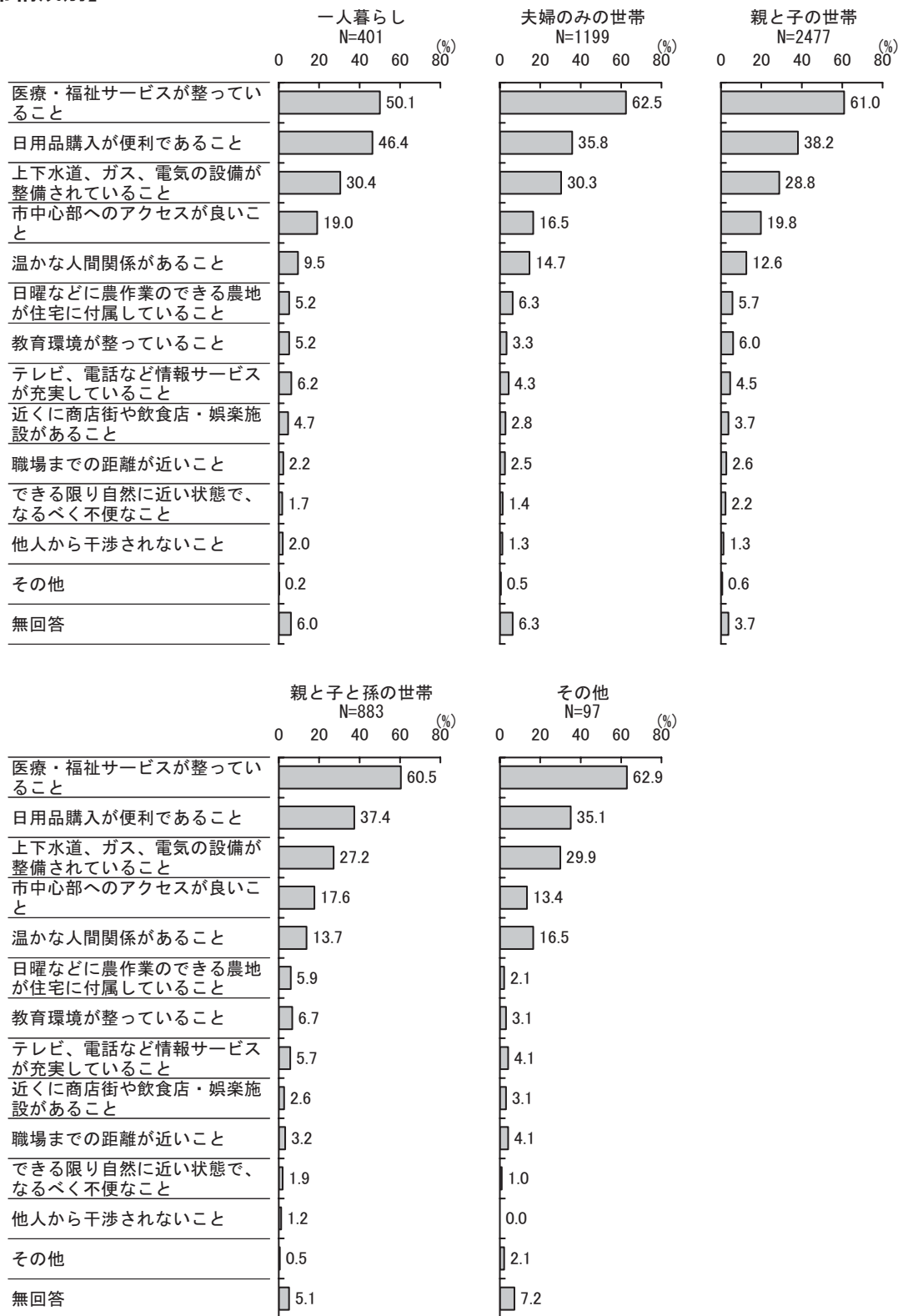
【性・年代別】



性・年代別にみると、性・年代別にかかわらず割合の傾向は全体と同様だが、10歳代男性、30歳代では「日用品購入が便利であること」が他の性・年代に比べてやや高くなっている。10歳代では「医療・福祉サービスが整っていること」(男性：20.0% < 女性：61.9%)、「日用品購入が便利であること」(男性：53.3% > 女性：21.4%)、「温かな人間関係があること」(男性：13.3% > 女性：2.4%)、「他人から干渉されないこと」(男性：10.0% > 女性：0.0%)で10ポイント以上の大差がみられる。

Ⅲ 調査結果

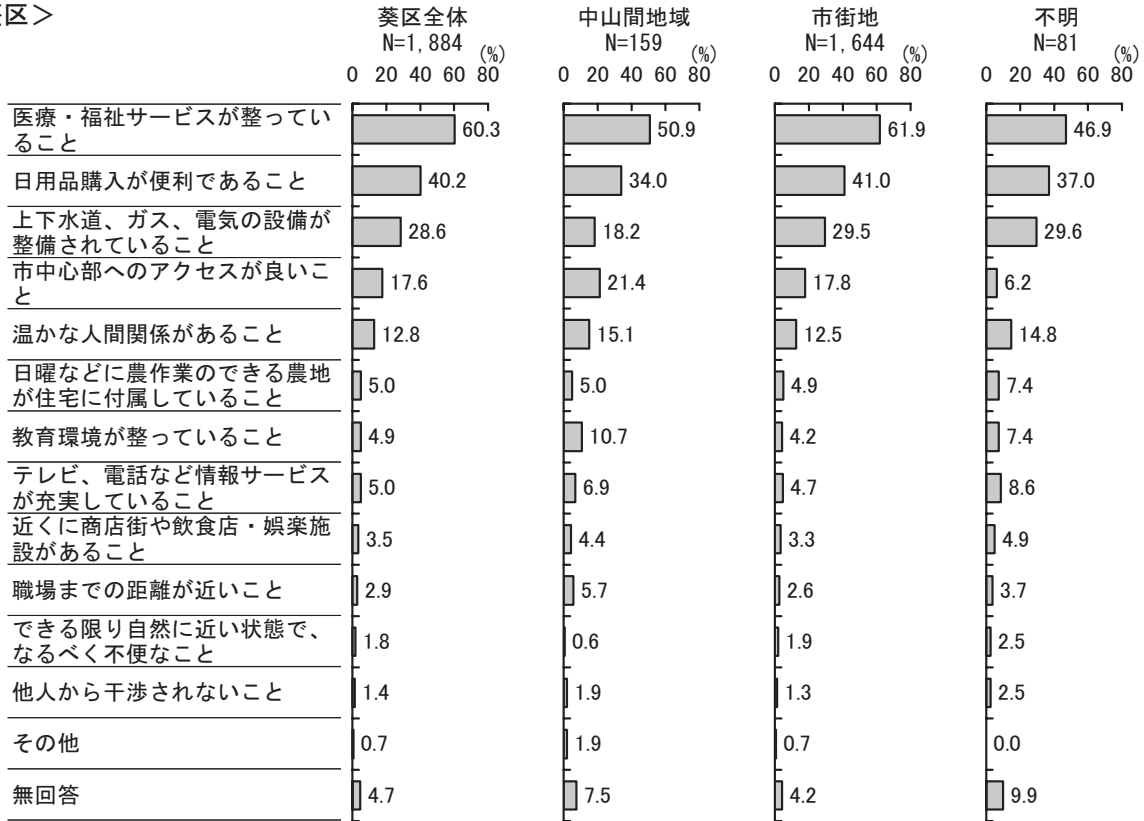
【世帯構成別】



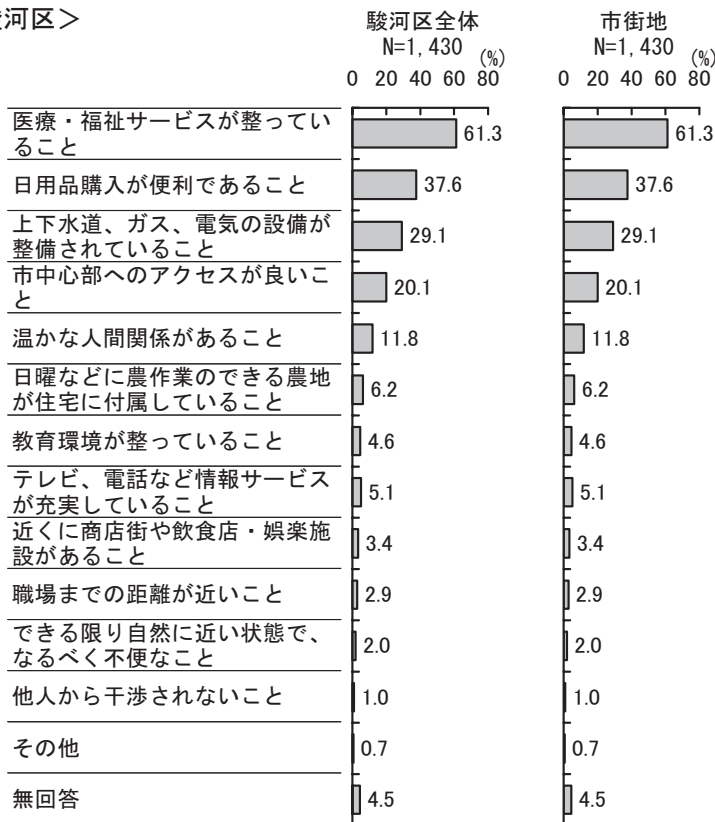
世帯構成別にみると、いずれの世帯構成においても割合の傾向は全体とほぼ同様だが、一人暮らしでは「医療・福祉サービスが整っていること」が 50.1%と他の世帯構成に比べて低く、「日用品購入が便利であること」が 46.4%とやや高くなっている。

【中山間地市街地別】

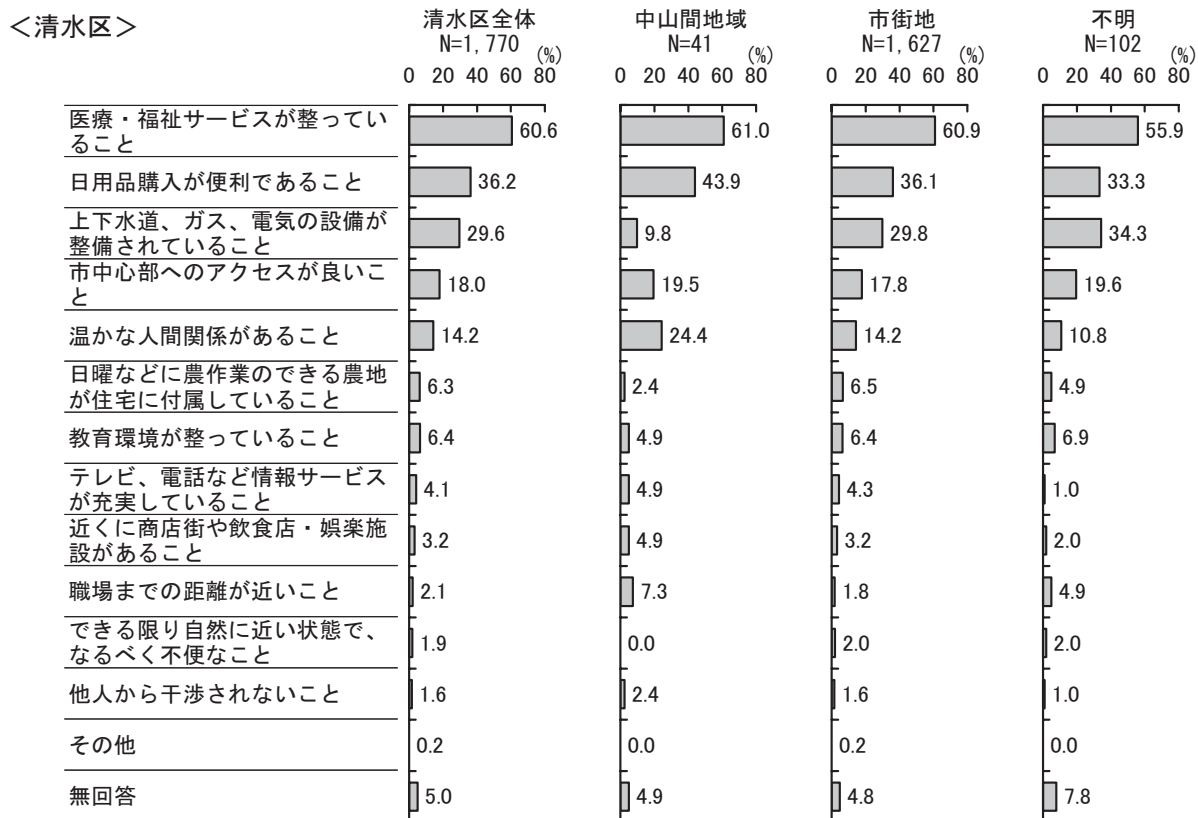
<葵区>



<駿河区>



Ⅲ 調査結果



行政区別にみると、葵区、駿河区、清水区とも割合の傾向は全体とほぼ同様となっている。葵区と清水区の中山間地域と市街地を比較してみると、葵区、清水区とも中山間地域では「上下水道、ガス、電気の設備が整備されていること」（葵区：18.2%、清水区：9.8%）は市街地（葵区：29.5%、駿河区：29.1%、清水区：29.8%）に比べて目立って低い。また、葵区の中山間地域では「教育環境が整っていること」（10.7%）は市街地（葵区：4.2%、駿河区：4.6%、清水区：6.4%）に比べてやや高く、清水区の中山間地域では「温かな人間関係があること」（24.4%）は市街地（葵区：12.5%、駿河区：11.8%、清水区：14.2%）に比べて高くなっている。